Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE_Sapporo2021v1.0　使用評価ソフト：CASBEE札幌2021（ver.1.0）

1-1 建物概要

建物名称	厚別某自動車ディーラーショールーム	階数	2
		構造	S造
建設地	札幌市厚別区厚別東4条3丁目24-6内、-83、-781、-787、-788、-1019	平均居住人員	17 人
		年間使用時間	2,100 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月　予定	評価の実施日	2026年2月10日
敷地面積	5,615 ㎡	作成者	
建築面積	1,907 ㎡	確認日	2026年2月10日
延床面積	2,114 ㎡	確認者	

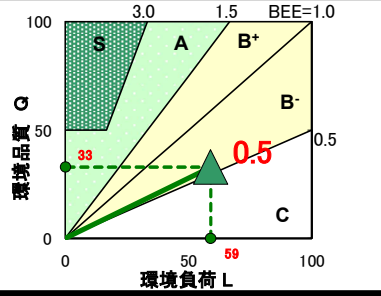
1-2 外観

※ここに外観パースを貼り付けてください。

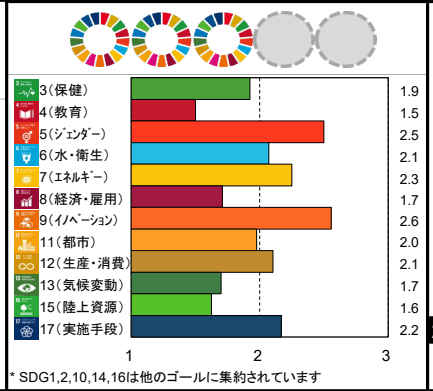
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.5　B－

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★

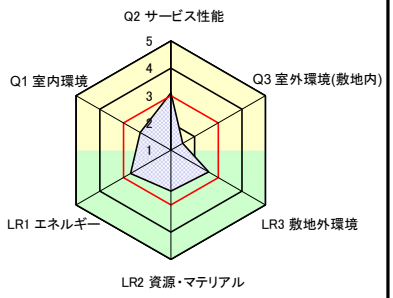


2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果



* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

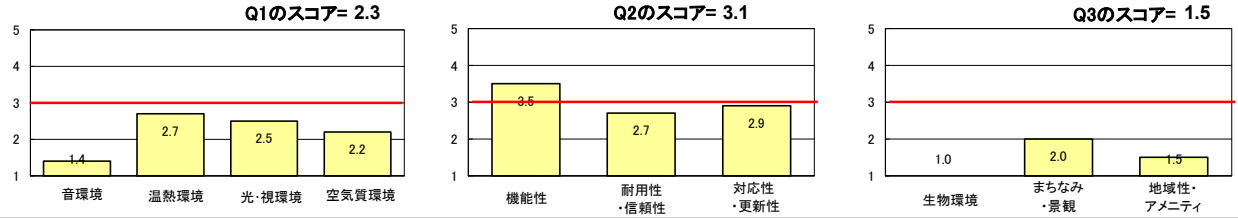


2-4 一次エネルギー消費量の評価

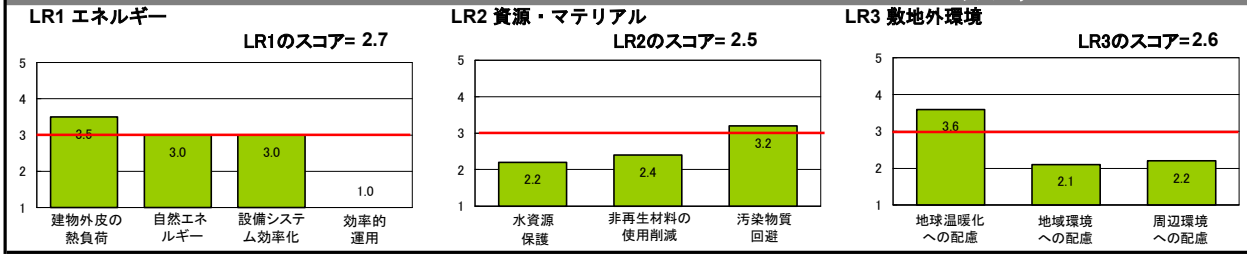
建物全体の[BEI][BEIm]	0.80
ZEB／ZEH-Mランク	非該当

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 2.3



LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 2.6



3 設計上の配慮事項

総合
自動車ショールーム、修理工場を併用した来店型店舗

A 省エネルギー
省エネ適合判定取得

B 省資源等
ショールームメイン照明に調光調色タイプを採用

C 緑化
札幌市緑化基準に適合

D 雪処理
堆雪スペースの設置

4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	-	LEED認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率
■環境品質Q＝25×(Qのスコア-1)、環境負荷L＝25×(5-LRのスコア)より算出

CASBEE_Sapporo2021v1.0
厚別某自動車ディーラーショールーム

□ 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュア CASBEE_Sapporo2021v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

スコアシート　実施設計段階

配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質							2.3
Q1 室内環境				0.35		-	2.3
1 音環境			1.4	0.15	-	-	1.4
1.1 室内騒音レベル		−	1.0	0.40	-	-	
1.2 遮音			1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		−	1.0	0.81	-	-	
2 界壁遮音性能		−	1.0	0.19	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		−	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		−	-	-	-	-	
1.3 吸音		−	3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境			2.7	0.35	-	-	2.7
2.1 室温制御			2.5	0.50	-	-	
1 室温		−	3.0	0.44	-	-	
2 外皮性能	省エネ	−	1.0	0.21	-	-	
3 ゾーン別制御性		−	3.0	0.35	-	-	
2.2 湿度制御		−	3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		−	3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境			2.5	0.25	-	-	2.5
3.1 昼光利用			2.4	0.40	-	-	
1 昼光率		−	1.0	0.29	-	-	
2 方位別開口		−	-	-	-	-	
3 昼光利用設備	省エネ	−	3.0	0.71	-	-	
3.2 グレア対策			2.0	0.15	-	-	
1 昼光制御	省エネ	−	2.0	1.00	-	-	
3.3 照度		−	2.0	0.07	-	-	
3.4 照明制御		−	3.0	0.38	-	-	
4 空気質環境			2.2	0.25	-	-	2.2
4.1 発生源対策			3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		−	3.0	1.00	-	-	
4.2 換気			1.3	0.30	-	-	
1 換気量		−	1.0	0.42	-	-	
2 自然換気性能		−	3.0	0.16	-	-	

	3	取り入れ外気への配慮		−	1.0	0.42	-	-	
4.3 運用管理					2.0	0.20	-	-	
	1	CO_2の監視		−	1.0	0.50	-	-	
	2	喫煙の制御		−	3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					_	0.30	-	-	3.1
1 機能性					3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	-	-	
	1	広さ・収納性		−	3.0	0.16	-	-	
	2	高度情報通信設備対応		−	3.0	0.16	-	-	
	3	バリアフリー計画		−	3.0	0.68	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.6	0.30	-	-	
	1	広さ感・景観		−	1.0	0.33	-	-	
	2	リフレッシュスペース		−	5.0	0.33	-	-	
	3	内装計画		−	5.0	0.33	1.0	-	
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		−	4.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		−	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		−	3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		−	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.3	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		−	3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	−	4.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	−	4.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					1.2	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		−	1.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		−	1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		−	1.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		−	1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		−	2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					2.9	0.30	-	-	2.9
3.1 空間のゆとり					3.4	0.30	-	-	

1	階高のゆとり		ー	5.0	0.60	-	-		
2	空間の形状・自由さ		ー	1.0	0.40	-	-		
3.2 荷重のゆとり			ー	3.0	0.30	-	-		
3.3 設備の更新性				2.6	0.40	-	-		
1	空調配管の更新性		ー	3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		ー	1.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		ー	3.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		ー	3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		ー	3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		ー	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				_	0.35	-	-	1.5	
1 生物環境の保全と創出		緑化	ー	1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		緑化	ー	2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		雪処理	ー	2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		省資源 緑化	ー	1.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	2.6	
LR1 エネルギー				_	0.40	-	-	2.7	
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI= 0.93 品確法= ー	3.5	0.20	-	-	3.5	
2 自然エネルギー利用		省エネ	ー	3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化		省エネ	BEI= 0.80 ー	3.0	0.50	-	-	3.0	
4 効率的運用				1.0	0.20	-	-	1.0	
集合住宅以外の評価				1.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング	省エネ	ー	-	-	-	-		
4.2	運用管理体制	省エネ	ー	1.0	1.00	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-		
4.1	モニタリング	省エネ	ー	-	-	-	-		
4.2	運用管理体制	省エネ	ー	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				_	0.30	-	-	2.5	
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2	
1.1 節水			ー	1.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		ー	3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		ー	3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	2.4	
2.1 材料使用量の削減		省資源	ー	2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源	ー	3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	ー	3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	ー	1.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源	ー	2.0	0.10	-	-		

	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	ー	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		ー	5.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
	1 消火剤	省資源	ー	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	省資源	ー	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	省資源	ー	2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				_	0.30	-	-	2.6
1	地球温暖化への配慮	省資源	ー	3.6	0.33	-	-	3.6
2	地域環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
	2.1 大気汚染防止	省資源	ー	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理	ー	1.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	省資源	ー	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		ー	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		ー	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	ー	5.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			2.2	0.33	-	-	2.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		ー	3.0	0.33	-	-	
	2 振動		ー	3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		ー	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		ー	1.0	1.00	-	-	
	2 砂塵の抑制		ー	1.0	-	-		
	3 日照阻害の抑制		ー	-	-	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		ー	3.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		ー	3.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

重点項目評価結果

■使用評価マニュアル： CASBEE_Sapporo2021v1.0　　■使用評価ソフト： CASBEE札幌2021（ver.1.0）

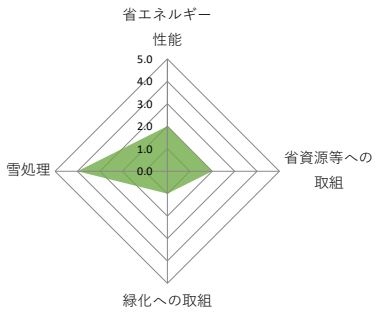
1 建物概要

建物名称	厚別某自動車ディーラーショールーム	BEE	0.6	BEEランク	B－
建物用途	物販店,工場,				
延床面積	2,114.0 ㎡				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★☆☆☆
	省資源等	★★☆☆☆
	緑　化	★☆☆☆☆
	雪処理	★★★★☆

レーダーチャート



★1＝スコア（最低点～最高点）20%以下
★2＝スコア（最低点～最高点）20%～40%以下
★3＝スコア（最低点～最高点）40%～60%以下
★4＝スコア（最低点～最高点）60%～80%以下
★5＝スコア（最低点～最高点）80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー（最高点 22.4 最低点 5.8）					**合計**	**11.9点**	／22.4点
Q1 温熱環境	スコア	0.1	／0.6	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	2.8	／4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.0	／1.8	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2	／2.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.0	／10.0
				LR1 効率的運用	スコア	0.8	／4.0
B 省資源等（最高点 24.0 最低点 7.8）					**合計**	**12.0点**	／24.0点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7	／1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3	／9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	／2.6	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.1	／1.9
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.6	／5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	1.8	／4.4
C 緑化（最高点 17.3 最低点 3.5）					**合計**	**4.8点**	／17.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.0	／5.2	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5	／2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.8	／7.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	／2.6				
D 雪処理（最高点 3.0 最低点 0）					**合計**	**2.0点**	／3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	／1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	／2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■重点項目の**最高点は、各評価項目でレベル5**で評価された場合の点数
■重点項目の**最低点は、各評価項目でレベル1**で評価された場合の点数